

「学校用務員業務委託」特定結果

学校用務員業務委託について公募型プロポーザル方式で受託候補者を特定しました。

1 件名

学校用務員業務委託

2 委託内容

学校用務員業務

3 契約の相手方(予定)

株式会社リンレイサービス横浜支店

協和産業株式会社

南信ビルサービス株式会社

株式会社ケンズコミュニティ

4 評価結果

(1)書類選考

順位	提案者	最終評価点数(委員7人の採点の合計点)
1	株式会社リンレイサービス横浜支店	694
2	協和産業株式会社	668
3	南信ビルサービス株式会社	644
4	株式会社ケンズコミュニティ	428
5	株式会社クリーン工房横浜支店	386
6	セントラル総業株式会社	366
7	株式会社新東美装	344

(2)ヒアリング

順位	提案者	最終評価点数(委員7人の採点の合計点)
1	株式会社リンレイサービス横浜支店	974
2	協和産業株式会社	922
3	南信ビルサービス株式会社	908
4	株式会社ケンズコミュニティ	600
5	セントラル総業株式会社	490
6	株式会社クリーン工房横浜支店	482

5 評価基準・評価委員会開催経過等

(1)評価基準

別紙のとおり

(2)評価委員会開催経過

委員会開催日時 及び開催場所	第1回	令和7年11月6日 13時00分～15時00分 横浜市役所 18階さくら16会議室
	第2回	令和7年11月27日 13時00分～16時30分 横浜市役所 18階なみき19会議室
評価委員の出席状況	第1回	出席7／委員数7(人)(充足率100%)
	第2回	出席7／委員数7(人)(充足率100%)
主な発言内容	第1回	・中小企業診断士による財務分析報告及び質疑応答 ・ヒアリングに向けての質問事項の意見交換
	第2回	・各学校で想定している人員体制は。 ・日本版DBSをふまえた配置予定者の選考方法は。 ・学校における盗撮カメラ設置の対策は。

6 問い合わせ先

横浜市教育委員会事務局教職員人事課

提案書評価基準

別添 2

1 評価項目及び配点

表 1 の評価項目及び配点のもと、評価を行う。

表 1 基本的評価事項

評価項目	評価の着目点		配点	評価	評価点
企業概要 (30 点)	業務実績	学校用務員業務等類似業務の実績があるか。	10	A・B・C	
	営業拠点の所在地	横浜市内に営業拠点があるか。	10	A・B・C	
	経営状況	経営状況は安定しているか。	5	A・B・C・D	
	社会的責任	法令遵守、環境保護、地域貢献、社会貢献等の活動に積極的に取り組んでいるか。(ISO などの公的認証の取得、障害者雇用等)	5	A・B・C	
業務実施方針 (80 点)	業務内容の基本的な考え方	各校種で業務を行うことについて、基本的な考え方が適正か。また、各校種の児童・生徒や地域との協力体制が具体的に適切か。	10	A・B・C	
		派遣と委託の区分を理解しているか。その中で取組みの工夫がなされているか。	5	A・B・C	
	管理・業務の体制	統括責任者、業務責任者、作業員の配置の考え方は適切か。	10	A・B・C・D	
		業務責任者・作業員の構成や定期的・専門業務の実施体制の考え方は適切か。	10	A・B・C・D	
		急な欠員等の人材確保やフォロー体制が整備されており、スムーズに受託開始するための取組みの工夫がなされているか。	5	A・B・C・D	
		現場への巡回指導体制は適切か。	5	A・B・C・D	
		各校種で勤務する業務責任者・作業員の教育・育成の取組みは整備されているか。	5	A・B・C・D	
	リスク管理・個人情報管理	不祥事防止等のリスク管理や個人情報管理についての考え方や具体的な対策の取組みが整備されているか。	10	A・B・C・D	
	安全対策・苦情処理体制	日常の安全衛生管理・事故防止の安全対策は適切か。	5	A・B・C・D	
		災害発生時等の緊急時の際の安全対策は適切か。	5	A・B・C・D	
		業務履行や作業員等に対する苦情の対応は適切か。	5	A・B・C・D	
	その他の提案	学校用務員業務における創意工夫のある提案や学校及び教職員の働き方改革に貢献する提案がなされているか。	5	A・B・C	
ヒアリング (40 点)	取組意欲	取組意欲の感じられる提案か。	10	A・B・C	
	説明力	学校用務員業務について、的確かつ簡潔に説明が行われているか。	10	A・B・C	
	理解度	業務に必要な専門的知識を持ち、質問に対して的確な受け答えが来ているか。	10	A・B・C	
	信頼性・実現性	業務に対する責任感・誠実さが感じられ、提案の内容について実現ができる企業の体制があるか。	10	A・B・C	

2 評価方法

(1) 各評価項目について、A、B、C、Dの4段階評価を行うことを標準とする。

(2) 配点にA＝5/5、B＝3/5、C＝1/5、D＝0/5を乗じて算出します。

例えば、表1において配点10点の項目の場合

評価がAであれば評価点は $10 \times 5/5 = 10$ 点

評価がBであれば評価点は $10 \times 3/5 = 6$ 点

評価がCであれば評価点は $10 \times 1/5 = 2$ 点

評価がDであれば評価点は $10 \times 0/5 = 0$ 点

(3) 当該委託の内容に適合した履行を確保するため、評価委員全員の平均点数が75点に満たなかった場合、またはD評価があるものは原則として選定しない。

(4) 採点が同点の場合は、評価事項のうち、業務実施方針の合計点数で再評価を行い、受託候補を特定する。

(5) 各評価項目の評価の視点は表2のとおりとする。

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点		評価			
			A	B	C	D
企業概要 (30点)	業務実績	学校用務員業務等類似業務の実績があるか。 ※本仕様書内の業務と類似しているものとする。	過去5年で3つ以上の自治体で2年以上の受託実績がある。	過去5年で2つの自治体で2年以上の受託実績がある	過去5年で1つの自治体で2年以上の受託実績がある	
	営業拠点の所在地	横浜市内に営業拠点があるか。	市内に営業拠点がある	市内に営業拠点は今はないが、受託後は設立予定	市内に営業拠点がない、今後とも設立予定はない	
	経営状況	経営状況は安定しているか。(有識者の意見を参考に判断するものとする)	特に安定している	A・C・Dに該当しない	やや安定していない	安定していない
	社会的責任	法令遵守、環境保護、地域貢献、社会貢献等の活動に積極的に取り組んでいるか。(ISOなどの公的認証の取得、障害者雇用等)	ISO9000 シリーズ及びISO14000 シリーズの認証をいずれも受けており、障害者雇用について法定雇用率以上の雇用がある	左記のいずれかが満たされているあるいは特筆すべき取り組みがある	A・Bに該当しない	

業務実施方針 (80点)	業務内容の基本的な考え方	各校種で業務を行うことについて、基本的な考え方が適正か。また、各校種の児童・生徒や地域との協力体制が具体的で適切か。	特に優れている	A・Cに該当しない	適切でない	
		派遣と委託の区分を理解しているか。その中で取組みの工夫がなされているか。	的確に理解しており検討が十分	A・Cに該当しない	理解していない	
	管理・業務の体制	統括責任者、業務責任者、作業員の配置の考え方は適切か。	特に優れている	A・C・Dに該当しない	やや適切でない	適切でない
		業務責任者・作業員の構成や定期的・専門業務の実施体制の考え方は適切か。	特に優れている	A・C・Dに該当しない	やや適切でない	適切でない
		急な欠員等の人材確保やフォロー体制が整備されており、スムーズに受託開始するための取組みの工夫がなされているか。	特に優れている	A・C・Dに該当しない	やや適切でない	適切でない
		現場への巡回指導体制は適切か。	特に優れている	A・C・Dに該当しない	やや適切でない	適切でない
		各校種で勤務する業務責任者・作業員の教育・育成の取組みは整備されているか。	特に優れている	A・C・Dに該当しない	やや適切でない	適切でない
	リスク管理・個人情報管理	不祥事防止等のリスク管理や個人情報管理についての考え方や具体的な対策の取組みが整備されているか。	特に優れている	A・C・Dに該当しない	やや適切でない	適切でない
	安全対策・苦情処理体制	日常の安全衛生管理・事故防止の安全対策は適切か	特に優れている	A・C・Dに該当しない	やや適切でない	適切でない
		災害発生時等の緊急時の際の安全対策は適切か。	特に優れている	A・C・Dに該当しない	やや適切でない	適切でない

		業務履行や作業員等に対する苦情の対応は適切か。	特に優れている	A・C・Dに該当しない	やや適切でない	適切でない
	その他の提案	学校用務員業務における創意工夫のある提案や学校及び教職員の働き方改革に貢献する提案がなされているか。	特に優れている	A・Cに該当しない	提案内容が不十分である	
ヒアリング (40点)	取組意欲	取組意欲の感じられる提案か。	特に優れている	A・Cに該当しない	意欲は感じられない	
	説明力	学校用務員業務について、的確かつ簡潔に説明が行われているか。	特に優れている	A・Cに該当しない	説明が不足している	
	理解度	業務に必要な専門的知識を持ち、質問に対して的確な受け答えが出来るか。	特に優れている	A・Cに該当しない	理解していない	
	信頼性・実現性	業務に対する責任感・誠実さが感じられ、提案の内容について実現ができる企業の体制があるか。	特に優れている	A・Cに該当しない	信頼性・実現性が低い	